

1 小学校高学年 学級活動指導案

1 題材「ちがうっていけないこと？」
内容（2）ウ 「望ましい人間関係の育成」

2 児童の実態と題材設定の理由

私たちの住んでいる埼玉県は、在留外国人数が 145,997 人（平成 28 年 6 月末現在・法務省在留外国人統計より）で全国第 5 位である。また、県内すべての市町村に在留外国人が在住しており、児童が外国人と接する機会は増えている。こうした中、お互いの理解不足等により在留外国人の人権が尊重されないことが見受けられる。

この時期の児童は、自分とは異なる価値観や文化、習慣に出会ったとき、戸惑ったり避けようとしたりする傾向がある。そこで、自分たちも外国に行けば外国人になることに気付かせ、「違い」による差別を受ける側の気持ちを考えさせる活動を設定した。さらに、異なる言葉や環境で生じる不安な気持ちを疑似体験させる活動を通して、言語や生活様式や文化、習慣の多様性を理解し、お互いの人権を尊重し合う態度を育てたいと考え本題材を設定した。

3 指導のねらい

ロールプレイや話し合い活動を通して、自分の今までの言動を振り返り、相手の立場や考え、思いを理解することの大切さについて考える。

4 評価規準

| 集団活動や生活への 関心・意欲・態度 | 集団の一員としての 思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての 知識・理解 |
|---------------------------------------|---|-------------------------------|
| 相手の生活や文化の違いを理解する大切さについて進んで話し合おうとしている。 | 相手を理解し、尊重するための方法について自分なりに考え、判断し、実践している。 | 相互理解や他者を尊重することの大切さについて理解している。 |

5 人権教育上のねらい（外国人）

日本在住の外国人が感じている人権問題を通して、外国の人々の生活習慣やものの考え方、文化の違いがあることに気づき、違いを認め合いながら、広い視野を持ち、対等な関係を築き、共に生きていこうとする態度や心情を育てる。

6 人権教育上の視点

- （1）決めつけや偏見が差別の原因になりうることを理解している。（知識）
- （2）ロールプレイで外国人の気持ちを疑似体験することで、一人一人の価値観や行動様式の違いを尊重し、物事をいろいろな角度から見ようとしている。（価値・態度）
- （3）コミュニケーション技能を身に付け、人間関係を調整することができる。（技能）

7 事前指導

本時の活動のためのグループを作っておく。

8 展開

◎人権教育上の配慮

| | 学習活動 | ・指導上の留意点 ☆目指す児童の姿（観点）【評価方法】 | 資料等 | 時間 |
|--------|---|---|---|-----|
| 導 入 | <p>1 アイスブレイキング ・「英語でジャンケン」を行う。</p> <p>2 外国人インタビューやアンケート結果を見て、気付いたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人はじろじろ見られることをいやがっている。 ・自分も外国人をじろじろ見てしまったことがある。 ・仕事を探すとき、大変な思いをしているとは思わなかった。 </div> <p>3 外国人を困らせている理由を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人は、日本人と肌や髪、目の色が違うから。 ・言葉が違うから。 ・生活習慣が違うから。 ・服装が違うから。 ・日本語がわからない。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい話し合い活動ができるよう、楽しく行うようにする。 ・中国語、韓国語等でも行ってみる。 <p>◎相手を選ばず、進んでいろいろな人と係わるよう声かけをする。</p> <p style="text-align: right;">(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTのインタビュービデオやアンケートの結果を見て気付いたことを発表させる。 ・身近な問題として捉えられるように、ALTへのインタビューや統計資料を活用し話し合わせる。 <p>◎「外人」という言葉が出てきたら「外国人」と使うようにさせる。</p> <p style="text-align: right;">(知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ「じろじろ見られる」「仕事が見つけられない」のか考えさせる。 ・外国人と日本人の違いを挙げさせ、本時の課題を提示する。 <p>◎外国籍の児童がいるときには、一般的なこととして考えさせる。</p> <p style="text-align: right;">(知識)</p> | <p>資料等</p> <p>V T R 「ALTへの質問」</p> <p>調査資料</p> | 10分 |
| 展 開 | <p>4 本時の課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ちがうっていけないこと？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・じろじろ見られるなんていやだ。 ・仲間に入れてもらえないなんていやだ。 ・仕事が見つからないなんていやだ。 </div> <p>5 ロールプレイのやり方を知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人アンケートの中で自分が外国に行ってそう思われたら嫌だなと思うことはあるか考えさせる。 ・自分自身の問題に置き換えて考えさせる。 ・どうしたら外国人が嫌な思いをしないですむのかをロールプレイを行うことで、考えさせる。 | <p>ルールプレイを行う上での注意</p> | 20分 |

| | | | | |
|--------|--|--|--|--|
| 展 開 | <p>ロールプレイの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 静かに話しかけ、落ち着いた雰囲気をつくり出す。 ・ 3人程度のグループをつくる。 ・ グループは男女混合とし、協力して話し合いができるように声かけをする。 <p>ロールプレイA「もし、自分のとなりに、外国人の家族が引っ越して来て、あいさつに来たら？」</p> <p>外国人：ハロー、こんにちは。 日本人：(だまってじろじろ見る) 外国人：今度、となりに来ました。マイケルと言います。よろしくお願ひします。 日本人：どうも(じろじろ見ながら) 日本人：(ドアをすぐにしめる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員に外国人役、日本人役を行わせる。 ・ 時間まで、何回もローテーションをし、繰り返し演じ続けるようにさせる。 | ワ ー ク シ ー ト 1 | ロ ー ル プ レ イ A の 台 本 | |
| | <p>6 ロールプレイAを行い、感想を書く。</p> <p>7 感想や気付いたことについて話し合う。(シェアリング)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悪い ・ いやだ ・ さびしい ・ 冷たい ・ 悲しい ・ 心が傷つく ・ そっけない ・ かんげいされていないのかな ・ 不安 </div> <p>8 ロールプレイBを行い、感想を書く。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人役、日本人役を決めさせる。 ・ ロールプレイ台本をもとに進めるようにさせる。 ・ 教師はグループを回りながら、支援する。 ・ 終わったら、感想をワークシートに書かせる。 ・ 外国人役については、中国、韓国、フィリピン等いろいろな国を設定してみる。 ・ ロールプレイAを通して感じたことを話し合わせる。 ・ 相手の意見を否定することなく、素直に感じたことを話し合わせ、考えを広げられるようにする。 ・ 外国人が避けられる場面の気持ち等、感じたことを話し合わせる。 ・ ワークシートには自分が感じたことを短い言葉で書かせる。 <p>◎意見を否定せず、受け入れる気持ちを持ちながら話し合いが行えるようにさせる。(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣に越してきた人と仲良くなれるようなセリフを考えてロールプレイBを行わせる。 | ワ ー ク シ ー ト 2 | |
| | <p>ロールプレイB外国人：ハロー、こんにちは。 日本人：() 外国人：今度、となりに来ました。マイケルと言います。よろしくお願ひします。 日本人：() 日本人：()</p> | | | ロ ー ル プ レ イ B の 台 本 |
| | | | ワ ー ク シ ー ト 1 | |

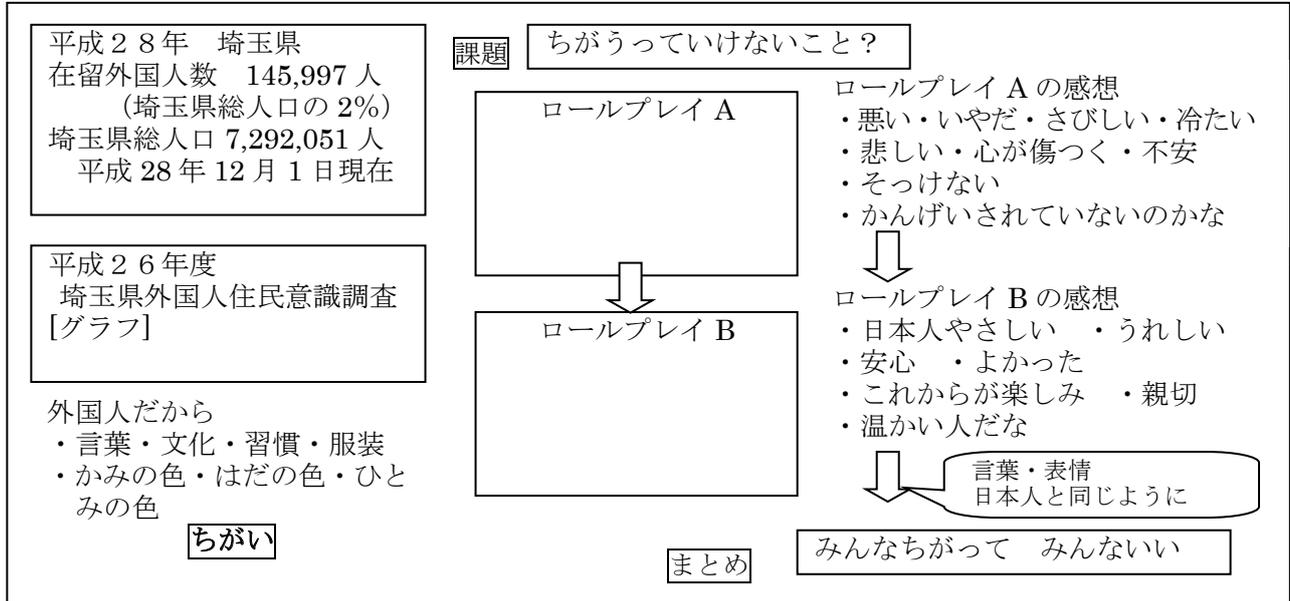
| | | | | |
|--|---|--|---|---|
| | <p>9 感想や気付いたことについて話し合う。(シェアリング)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人はやさしい ・うれしい ・安心 ・よかった ・これからが楽しみ ・親切 ・温かい人だな </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ B の疑似体験を通して、外国人にとってどのように接してもらおうとうれしさを考えさせる。 ・ロールプレイ A の時と同様に、自分が感じたことを短い言葉で書かせる。 <p>☆相手を理解し、尊重するための方法について自分なりに考え、判断し、実践している。</p> <p>(思考・判断・実践)【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ B を通して感じたことを話し合わせる。 ・ワークシートの「友達の感想」には、友達の言葉でいいなと思ったことを書かせ、考えを深め、広げさせる。 <p>◎相手の立場に立って理解することの大切さに気付かせる。(価値・態度)</p> | | |
| <p style="text-align: center;">終 末</p> | <p>10 外国人との対応について気付いたことを書き、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・はだやかみの色が違っていても、人はみんな同じように接したい。 ・外国人だからといって差別はいけない。 ・誰に対してもじろじろ見ないで、笑顔で接したい。 ・普通に付き合うことが大事。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・二つのロールプレイを行って、気付いたことやこれからどうしていきたいかを発表させる。 ・最初に自分の考えをワークシートに書かせてから、学級全体で話し合わせる。 ・発表者には全員で称賛し、発言を認め合える雰囲気の中で、自信を持って発表できるようにする。 ・児童の発表をもとにまとめる。 <p>◎相手の立場に立って理解することの大切さに気付かせる。(価値・態度)</p> <p>☆一人一人の生活や文化の違いを理解することの大切さについて進んで話し合おうとしている。</p> <p style="text-align: center;">(関心・意欲・態度)【観察】</p> <p>☆相互理解や他者を尊重することの大切さについて理解している。</p> <p style="text-align: center;">(知識・理解)【観察】</p> | <p style="text-align: center;">ワーク シート2</p> | <p style="text-align: center;">15 分</p> |

9 事後指導

外国人を含め誰に対しても、自己決定したことを実践できるよう取り組ませる。

※学級の実態に応じて事後指導を工夫する。

10 板書計画

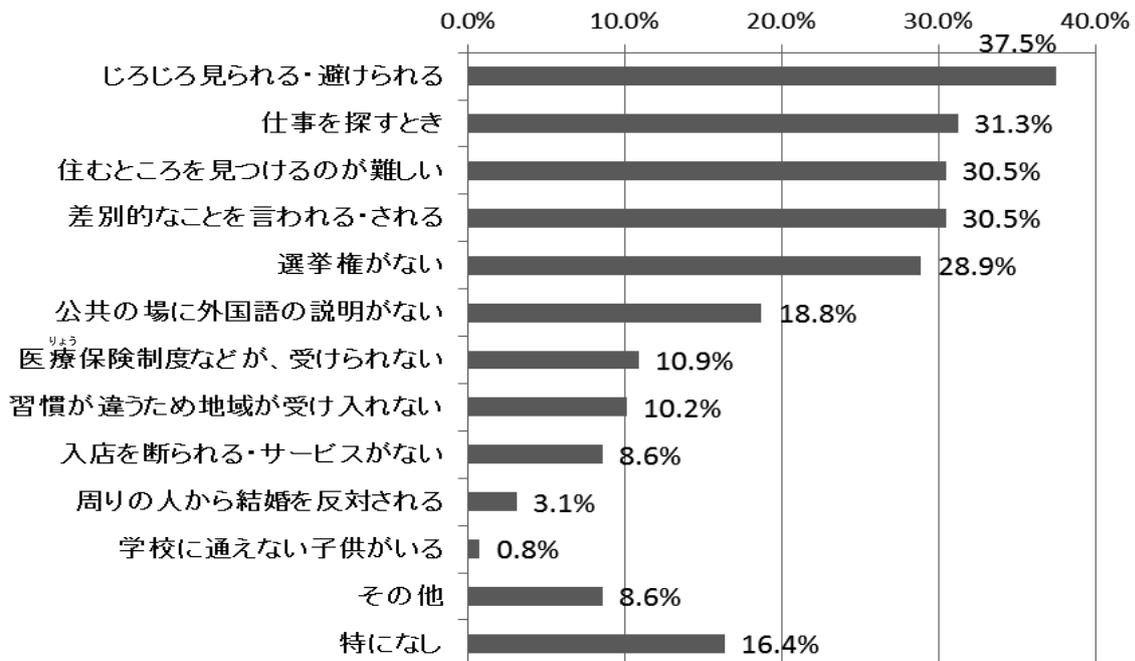


※「ロールプレイを行う上での注意」は実態に応じて掲示する。

資料

平成26年度 埼玉県外国人住民意識調査（埼玉県 県民生活部 国際課 調べ）

1 質問：人権を大事にされていないと感じるのはどのようなときですか。

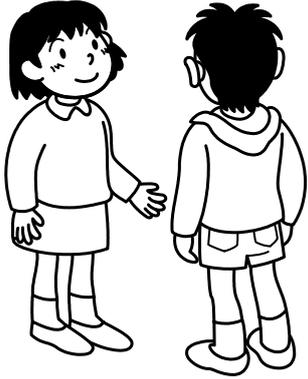


ちがうっていけないこと？

___年___組___番 名前_____

☆ロールプレイA

| | 自分の感想 |
|-------------------|-------|
| 2人のやりとりを見ていて感じたこと | |
| 外国人を演じて感じたこと | |
| 日本人を演じて感じたこと | |



☆ロールプレイB

| | 自分の感想 | 気に入った言葉 |
|-------------------|-------|---------|
| 2人のやりとりを見ていて感じたこと | | |
| 外国人を演じて感じたこと | | |
| 日本人を演じて感じたこと | | |

◎今日の授業で気付いたことや反省、これからどうしていききたいかなど
